



国見地区社会福祉協議会 シルバー喫茶



シルバー喫茶開店10周年記念

国見地区自治会型デイホームの「シルバー喫茶」が全5か所開店して今年で10年目になりました。各地区で協力してくださるスタッフの皆様、いつも足を運んで下さる利用者の方に感謝の気持ちを込めて『国見地区シルバー喫茶開店10周年記念』を8月9日に行いました。

記念式典では女性和太鼓『響』の迫力ある演奏で始まり国見中学校の生徒がクイズや体操でも盛り上がった後、『演遊会』と称して参加者約200名で国見の遊びで宝引き大会を開催しました。当たりの「どんこ」が近くまで来ると『次はあたりかな〜』『はずれだ〜』『やっと来た〜』とあちらこちらで声が上がりが大変な盛り上がりでした。

『次は20周年でお会いしましょう』と締めると『ほやほや。元気で生きてなあかんの〜』と最後まで大笑いの日でした。

国見地区専任職員 近藤 育恵

上文殊地区社会福祉協議会 ほのぼのサロン

貝細工 かえるが6匹
「むかえる」作り



マグネット型メモ挿み
「帽子」を作製

ほのぼの協力隊、参上!

上文殊地区の自治会型デイホームは、愛称を「ほのぼのサロン」といいます。

ほのぼのサロンでは、地区内の有識者が、「ほのぼの協力隊」を立ち上げ、2年目となります。

ほのぼの協力隊とは、特技を持った上文殊地区の住民の方が、各デイホーム会場に出向いて創作などを教えて下さっています。上文殊の人達が自分達の手で、相互間の介護予防を始めた形となり、また、協力隊とは顔見知りのため、評判も上々です。協力隊員は現在5名程度ですが、協力隊がもっと増え、地域の輪がもっと、もっと広がると思います。

上文殊地区専任職員 渡邊 直美